

21世紀を牽引する驚異の物質 ～ナノカーボン～

炭素原子 (C) だけからできた極微小の炭素物質 (ナノカーボン) が 21 世紀の科学技術を支えている。フラーレン、カーボンナノチューブそしてグラフェンと呼ばれている物質だ。人類のエネルギーを救う太陽電池や日常生活の必需品、スマートフォンに続々と応用・実用化されている。こんなナノカーボン、実はその発見は全くの偶然と好奇心の産物だった。講演ではナノカーボンの発見から、ナノカーボンが 21 世紀の科学技術を一変させる様子までを語りたい。

名古屋大学大学院
理学研究科

篠原 久典



春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話ししていただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

参加費無料

事前申込不要・当日会場にて受付

2014年 **3月30日** 日

名古屋大学 東山キャンパス
野依記念学術交流館 [S1会場]

主催：日本化学会 共催：名古屋大学 後援：中日新聞社

新元素の探索 ～現代の錬金術～

元素は宇宙の進化の中で合成された。生命体は元素を活用して生命活動を維持し、人類はそれらを天然に存在するものの中から発見し、さまざまな用途に用いている。元素にはまた人工合成によって新たに作り出され、発見されてきたものもある。我々は新元素である 113 番元素を世界に先駆けて合成し発見した。果たして日本発の元素は周期表の一席を占めることができるだろうか？

九州大学大学院
理学研究科

森田 浩介



日本化学会第94春季年会

市民公開講座

～科学で未来をきり拓く～

プログラム

13:05-13:10

開会挨拶

東京大学大学院薬学系研究科 井上 将行

13:10-14:00

21世紀を牽引する驚異の物質 ～ナノカーボン～

名古屋大学大学院理学研究科 篠原 久典

14:00-14:50

新元素の探索 ～現代の錬金術～

九州大学大学院理学研究科 森田 浩介

15:00-15:50

共生がもたらす生命の多様性

産業技術総合研究所 深津 武馬

15:50-16:40

眠り病を眠らせよう～日本の「くすり」がアフリカに～

東京大学大学院医学系研究科 北 潔

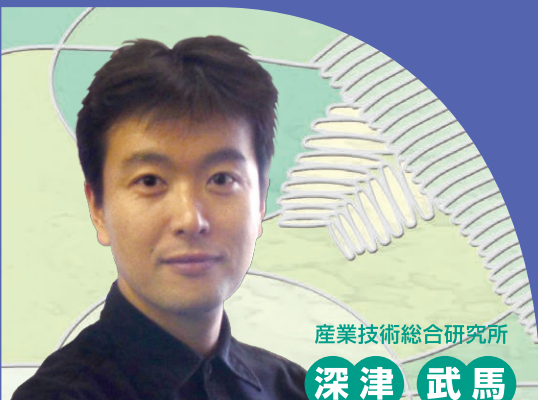


〒464-8601 名古屋市中千種区不老町
地下鉄名城線名古屋大駅下車すぐ

お問合せ先 日本化学会 企画部 年会係

TEL : 03-3292-6163

E-mail : nenkai@chemistry.or.jp

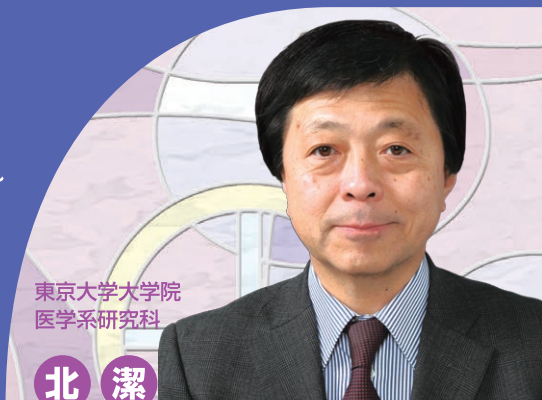


産業技術総合研究所

深津 武馬

共生がもたらす 生命の多様性

多くの生物の体や細胞のなかには特別な微生物が共生しています。そういった生物は共生微生物なしでは生きていけなかったり、性質が変わってしまったりします。両者が融合して1つの生物のようにもなっていることもよくあります。共生がいかに生物の適応に関わり多様性をもたらすのか、その重要性和おもしろさについてわかりやすく紹介します。



東京大学大学院
医学系研究科

北 潔

眠り病を眠らせよう

～日本の「くすり」がアフリカに～

「魔法の弾丸」という言葉をご存知でしょうか？理想的な薬をめざしていたドイツの研究者ポール・エールリッヒの言葉です。つまり「病原体など悪い敵だけをやっつけ、副作用のない薬」です。サルファ剤などの化学療法剤や抗生物質が見つかってきましたが、まだまだゴールは遠くです。アフリカの風土病を例に、創薬の最前線を紹介します。